

2022年7月22日
デクセリアルズ株式会社

異方性導電膜、スパッタリング技術で製造された反射防止フィルム、光学弾性樹脂の3製品で
世界シェア No.1 を3年連続で獲得
—富士キメラ総研「2022 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」より—

スマートフォン、自動車などに最先端の技術・材料・デバイスを提供するデクセリアルズ株式会社（本社：栃木県下野市、代表取締役社長：新家由久、以下、当社）は、株式会社富士キメラ総研（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田中一志、以下 富士キメラ総研）が2022年7月に発行した市場調査レポート「2022 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」において、当社が製造・販売する異方性導電膜（ACF）、スパッタリング技術^{※1}で製造された反射防止フィルム、光学弾性樹脂（SVR）の3製品が世界シェア No.1^{※2}を獲得したことをお知らせします。なお、3製品いずれも3年連続^{※3}での世界シェア No.1 となります。

※1 薄膜形成技術のひとつ。真空環境下でターゲット材にアルゴンガスを吹きつけ、弾き出された原子や分子を対象物に付着させて積層する技術で、半導体の製造などでも活用されています。

※2 2021年の金額シェアベース。

※3 2019年～2021年実績。

■当社製品の市場の占有率と概要について

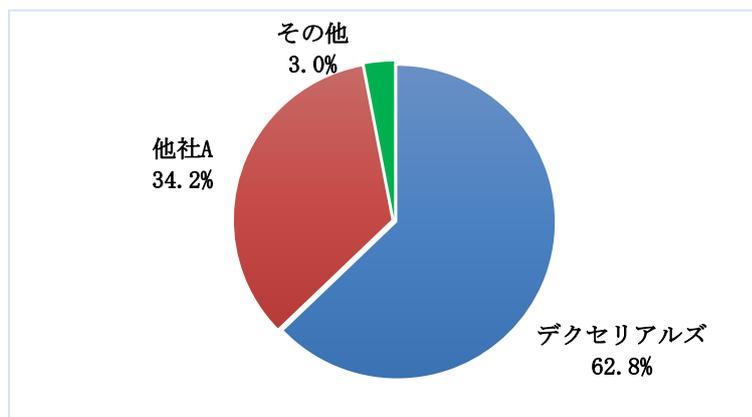
富士キメラ総研の同調査レポートによる、異方性導電膜（ACF）、スパッタリング技術で製造された反射防止フィルム、光学弾性樹脂（SVR）各製品の2021年金額シェアベースの市場占有率は以下の通りです。

異方性導電膜（ACF）

同調査レポート上の市場区分：ACF^{※4}

当社の世界シェア：62.8%

※4 大型向け ACF、中小型向け ACF の合計。



・異方性導電膜（ACF）とは

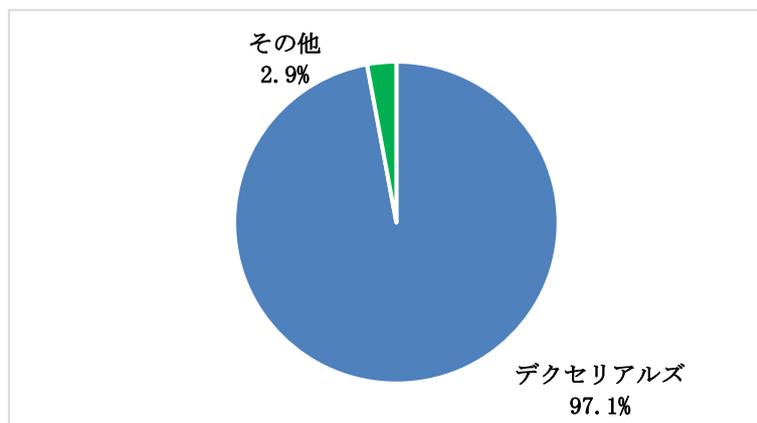
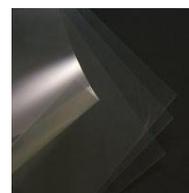
ICチップなどの電子部品を基板に実装し、回路を形成する際に欠かせないフィルム状の接合材料です。熱硬化型樹脂の中に導電粒子を分散させており、熱と圧力を加えることで「接着」「導通」「絶縁」の3つの機能を果たし、隣接回路間を絶縁しながら対向回路を導通させることが可能です。

当社の異方性導電膜（ACF）は、ディスプレイのICチップ実装やカメラ・センサーモジュールなどに多く使用されています。近年は、より高い接続信頼性が求められるハイエンド品において、独自の技術で導電粒子をきれいに整列させた粒子整列型異方性導電膜（ACF）の需要が高まっています。

スパッタリング技術で製造された反射防止フィルム

同調査レポート上の市場区分：表面処理フィルム（ドライコート）

当社の世界シェア：97.1%



・スパッタリング技術で製造された反射防止フィルムとは

ディスプレイの最表面に貼ることで光の反射を抑え、きれいで見やすいディスプレイを実現するフィルムです。スパッタリング技術によって金属酸化膜の反射防止層を形成することで、高い耐久性と優れた反射防止性能を有します。

当社では、独自のロール to ロール方式を採用し、ロール状のフィルム製品を効率よく、かつ品質を確保して生産することができる体制を整えています。当社の反射防止フィルムは、ノートPCや自動車の車載ディスプレイに広く採用されています。

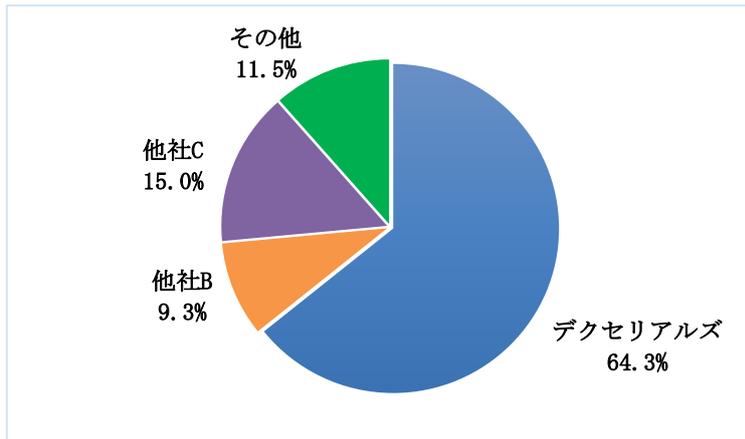
光学弾性樹脂（SVR）

同調査レポート上の市場区分：OCR^{※5}

当社の世界シェア：64.3%

※5 光学透明接着剤。ディスプレイ内部を貼り合わせる透明な液体接着剤の総称。光学弾性樹脂（SVR）は当社光学透明接着剤の登録商標です。





・光学弾性樹脂（SVR）とは

ディスプレイのトッププレートと、その下にある液晶モジュールなどの中にある空間（エアギャップ）に充填する液状の接着剤です。ガラスに近い光学特性を持つことから、トッププレート界面での外光の反射と内部の映像光の拡散を最小限に抑え、ディスプレイの視認性を向上させることが可能です。

当社の光学弾性樹脂（SVR）は、スマートフォン、タブレット PC や自動車の車載ディスプレイに広く採用されています。

<デクセリアルズ株式会社について> <https://www.dexerials.jp/>

デクセリアルズ株式会社は、企業ビジョンとして「Value Matters 今までなかったものを。世界の価値になるものを。」を掲げ、スマートフォン、自動車領域等に機能性材料を提供するメーカーです。異方性導電膜（ACF）、光学弾性樹脂（SVR）、反射防止フィルム、表面実装型ヒューズ、工業用接着剤、両面・片面テープ等の電子部品、接合材料や光学材料等の製造、販売をグローバルで展開しています。